



## 令和7年度 第2回 新栄高等学校学校運営協議会 議事録

開催日：令和7年9月6日（土）10:30～11:50

議題：最近の本校の教育活動について

出席者：学校運営協議会委員6名（欠席1名）+校長、副校長、教頭、事務長

### ○本校の教育活動の確認と意見聴取（10:30～11:10）

	意見・質問・感想等
委員A	<ul style="list-style-type: none"><li>教員対象人権研修会は、とても素晴らしい取組であると感じた。自分が勤務している会社では、親子ほどに歳の離れた同僚と会話する際、非常に気を遣う。時代背景もあると思うが、接し方にかなり配慮を要することもある。社会全般に必要な内容であり、参考になった。</li></ul>
委員B	<ul style="list-style-type: none"><li>授業改善、地域連携、人権研修等、充実した教育活動を行っていると感じた。特に人権については、学校外で子どもに関わる自分達にとっても重要である。</li><li>この夏、はじめての韓国訪問が実現したことは評価できる。高校生のときに本物の異文化体験をすることは貴重であり、今後の人生の糧になってくれればよい。</li><li>学校の取組については、様々な試行錯誤の結果と受け止めている。今後に期待している。</li></ul>
委員C	<ul style="list-style-type: none"><li>多忙な中、多くの事業や研修等を実施していて素晴らしい。授業改善については、アンケートにより子どもの声を聴くことで「わかる授業」につなげてほしい。</li><li>人権研修は、自分もぜひ聞きたい内容であったし、自校職員にも聞かせたかった。誰でも自分では気づかないうちに人権に配慮しない発言をしてしまうことがある。このような研修を繰り返し実施することで内容がプラスアップされるので、定期的に行ってほしい。</li></ul>
委員D	<ul style="list-style-type: none"><li>人権研修についての報告は大変参考になった。介護の現場でも人権に配慮しなければならない場面が多くある。人権研修の資料を職場に戻って職員と共有したい。</li><li>様々な取組が生徒達の主体性の向上につながっていると感じる。</li></ul>
委員E	<ul style="list-style-type: none"><li>特別支援学校は、特別支援教育のセンター的機能を担っている。自校でも小中学校への教育的支援を積極的に行っており、この夏休みにも小学校で実施した。今回の新栄高校での人権研修は、自校の分教室長が講師を務めたが、本人が高校で勤務していた経験もあり、高校現場にとって意義のある研修になったのではないかと思う。自校でも研修をよく行うが、理論だけを吸収するのではなく、目の前の生徒をよく見て対応していくことが必要である。</li><li>生徒対象の授業アンケートの項目に「もっと知りたいと思うことはあるか」という設問があるが、とてもよい問い合わせである。</li><li>6月の体育祭では分教室の生徒達も綱引きで参加したが、その際、新栄生が分教室の生徒達に特別な声掛けや手を貸すことをしないで活動していたことがとても素晴らしかった。普通に接することこそが平等であり、不必要に手助けしないことを高校生が実践していた。</li></ul>

### ○翌檜祭視察（11:10～11:50）

- 多文化交流展示発表ブース（A棟2階D205教室）  
韓国派遣団訪問の映像視聴、派遣参加生徒の発表
- みどり支援分教室展示販売ブース（C棟1階ラウンジ）  
手作り商品販売、沖縄文化研究資料の視察